

生駒市地域公共交通利便増進実施計画
【高山地区】
(案)

令和7年●月

目次

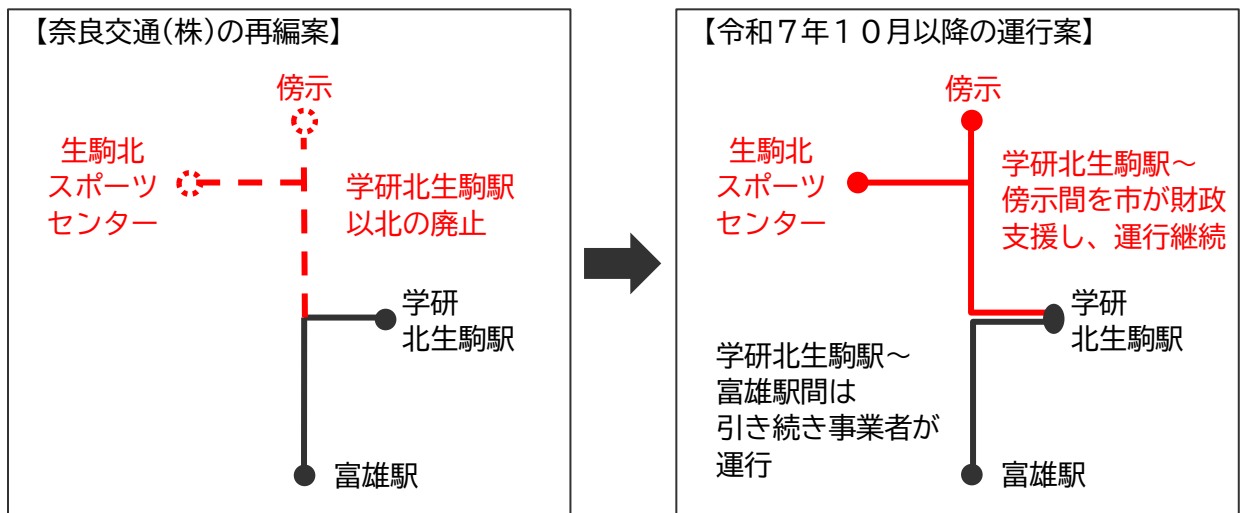
1. 計画の概要	1
1.1. 背景及び目的.....	1
1.2. 計画の位置づけ	2
1.3. 計画区域及び計画期間.....	2
1.3.1. 計画区域	2
1.3.2. 計画期間	2
1.4. 現状及び課題.....	4
1.4.1. 現状	4
1.4.2. 課題	11
2. 事業の内容・実施主体	12
2.1. 事業の全体像.....	12
2.2. 個別事業の内容	14
2.2.1. 富雄庄田線の一部系統の見直し.....	14
2.2.2. 学研北生駒駅での乗継運賃の見直し	25
2.2.3. その他の事業	25
3. 地方公共団体による支援の内容（地方公共団体の負担額）	25
3.1. 運行費の補助.....	25
3.2. モビリティ・マネジメントにかかる事業の実施	25
4. 予定実施期間	26
5. 事業実施に必要な資金の額（地方公共団体の負担額を除く）・調達方法.....	26
5.1. 路線の再編、運行回数、運行時刻の変更.....	26
5.2. その他の事業.....	26
6. 事業の効果	27
7. 地域公共交通計画に利便増進事業に関連して実施される事業が定められている場合には、当該事業に関する事項.....	27
8. 地域公共交通計画に都市機能の増進に必要な立地の適正化に関する施策、観光の振興に関する施策その他の関係する施策との連携に関する事項が定められている場合には、当該連携に関する事項.....	29
9. その他利便増進事業の運営に重大な関係を有する事項がある場合には、その事項	29

1. 計画の概要

1.1. 背景及び目的

令和 4 年 3 月に奈良交通株式会社から、富雄庄田線のうち、傍示・生駒北スポーツセンター～学研北生駒駅間の廃止案が提示されたが、バス路線廃止による地域への影響が大きいことから、対象区間のバス路線の存続に向けて、市と奈良交通株式会社とで協議を続けていた。

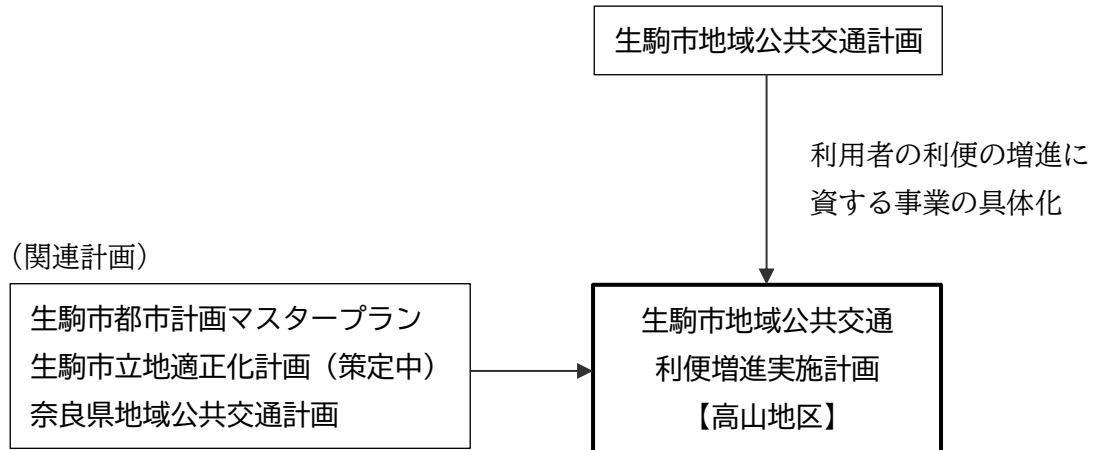
令和 6 年 3 月 15 日に「生駒市と奈良交通株式会社との連携・協力に関する協定書」を締結し、傍示・生駒北スポーツセンター～学研北生駒駅間については、市が財政支援を行うことで、以下のとおり令和 7 年 10 月以降も運行を継続する。



そこで、富雄庄田線の運行を継続していくため、富雄庄田線の一部系統を廃止するとともに、新たに学研北生駒駅～傍示間を運行する系統を新設することで運行を効率化し、生駒市地域公共交通利便増進実施計画【高山地区】（以下、利便増進計画という）を策定して利便性向上による利用者の増加を通じて収支改善を図る。

1.2. 計画の位置づけ

本計画は、「生駒市地域公共交通計画」の実施計画として位置づけます。



1.3. 計画区域及び計画期間

1.3.1. 計画区域

計画区域は、生駒市北部に位置する高山町（以下、高山地区）とします（図 1-1 を参照）。

1.3.2. 計画期間

計画期間は、生駒市地域公共交通計画と整合を図ることとし、令和 7 年度から令和 13 年度までの 7 年間とします。

なお、計画期間中の社会情勢や法制度等の状況の変化に応じて、適宜見直しを行います。

表 1-1 計画の期間

2020 年度 (R2)	2021 年度 (R3)	2022 年度 (R4)	2023 年度 (R5)	2024 年度 (R6)	2025 年度 (R7)	2026 年度 (R8)	2027 年度 (R9)	2028 年度 (R10)	2029 年度 (R11)	2030 年度 (R12)	2031 年度 (R13)
生駒市地域公共交通計画											
					中間 見直し						
生駒市地域公共交通 利便増進実施計画 【高山地区】											
総合計画基本計画 【第1期】				総合計画基本計画 【第2期】				総合計画基本計画 【第3期】			
都市計画 マスタープラン (H23.3策定)	都市計画マスタープラン (令和3年6月改定)										
立地適正化計画（検討中） (令和8年度～)											

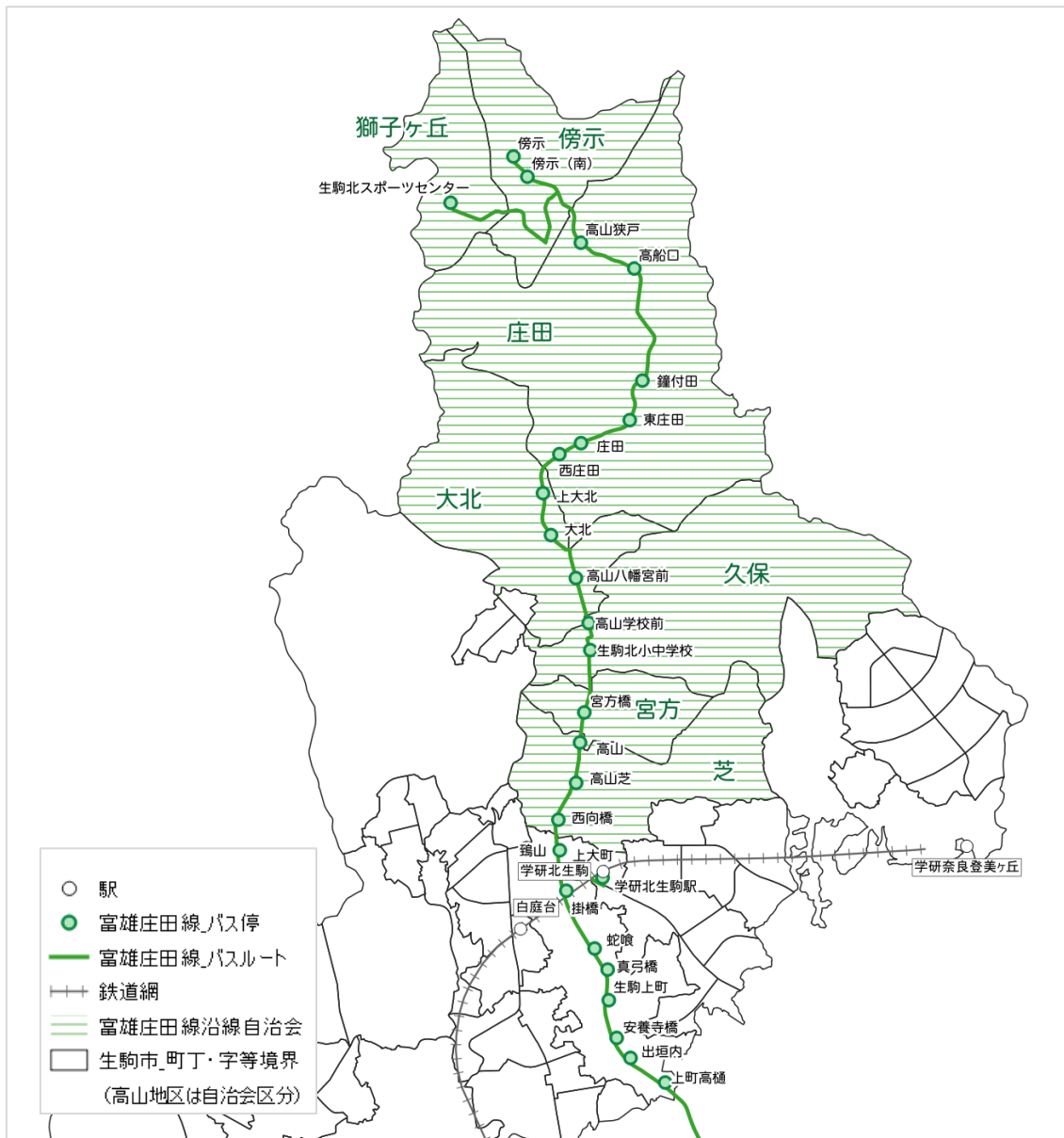


図 1-1 利便増進計画の実施区域（高山地区）

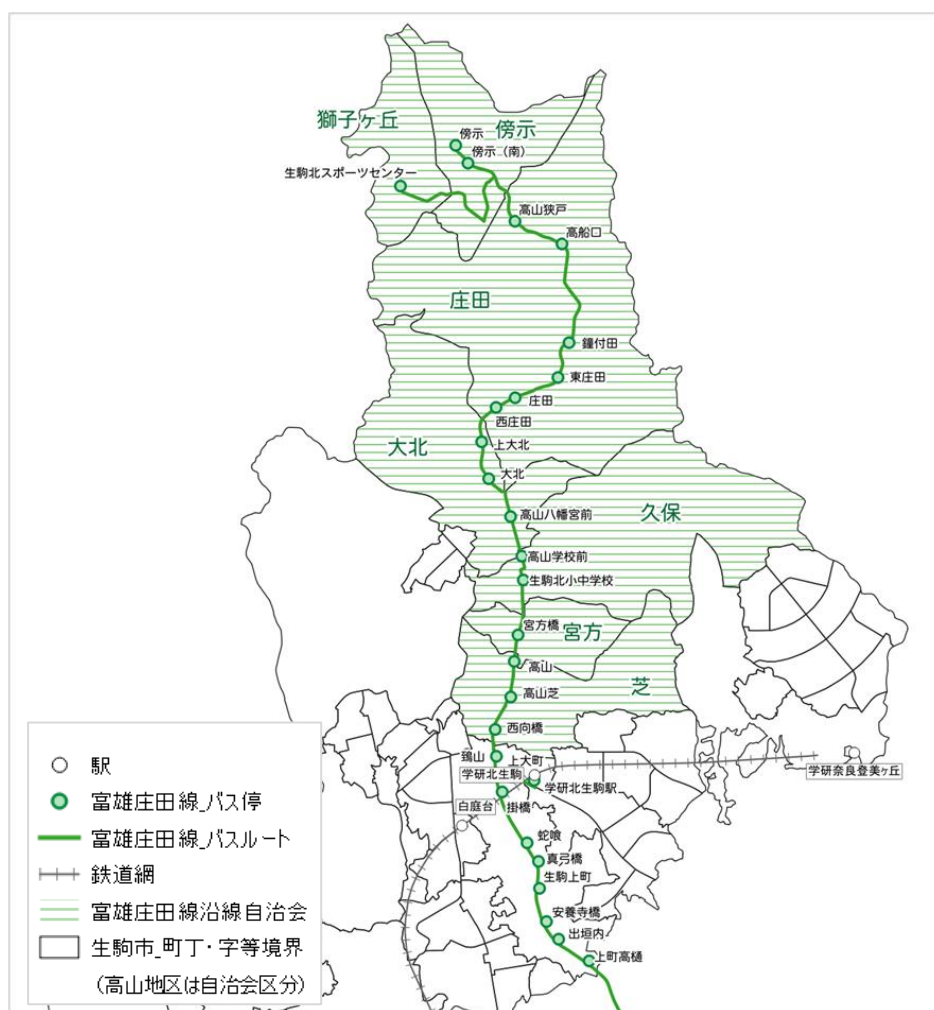
1.4. 現状及び課題

1.4.1. 現状

(1) 高山地区の公共交通の概要

- ・ 高山地区では、路線バスの富雄庄田線が運行しています。1日あたりの運行本数は、平日は片道 17 本/日、土曜及び日祝は片道 13 本/日です。
- ・ 富雄庄田線は、午前 6 時から午後 21 時まで運行していますが、学研北生駒駅から傍示行きの路線バスは平日 18:44 が最終便であるため、通勤・通学の帰宅手段として利用しにくい状況にあります。

【高山地区の公共交通網図】



【ダイヤ（傍示～学研北生駒駅間）】

【平日】	傍示 ➡ 学研北生駒駅方面行き																
停留所	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
傍示	-	6:37	-	7:09	7:42	8:13	8:59	9:59	11:04	12:04	13:04	14:05	14:49	15:37	16:35	17:37	18:19
庄田	6:04	↓	-	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
高山学校前	↓	↓	7:02	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
学研北生駒駅	6:20	7:01	7:13	7:33	8:06	8:37	9:23	10:23	11:28	12:28	13:28	14:29	15:13	16:01	16:59	18:01	18:43

【平日】	学研北生駒駅 ➡ 傍示方面行き																
停留所	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
学研北生駒駅	6:38	7:12	7:38	8:19	9:16	10:16	11:16	12:16	13:16	14:16	14:56	16:06	17:05	17:50	18:44	20:24	21:42
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
高山学校前	6:51	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
庄田	-	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	20:36	21:54
傍示	-	7:39	8:05	8:46	9:43	10:43	11:43	12:43	13:43	14:43	15:23	16:33	17:32	18:15	19:11	-	-

【土曜日・日祝日】	生駒北スポーツセンター ➡ 学研北生駒駅方面行き												
停留所	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
生駒北スポーツセンター	-	-	-	8:57	9:58	10:58	11:58	12:58	13:58	14:58	15:58	16:58	17:29
傍示	-	7:05	8:13	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
庄田	6:32	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
学研北生駒駅	6:48	7:29	8:37	9:27	10:28	11:28	12:28	13:28	14:28	15:28	16:28	17:28	17:59

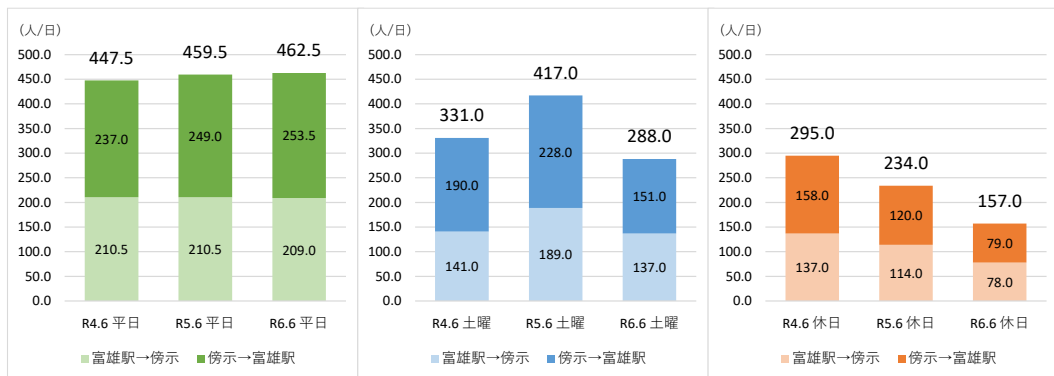
【土曜日・日祝日】	学研北生駒駅 ➡ 傍示方面行き												
停留所名	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
学研北生駒駅	7:33	8:19	9:16	10:16	11:16	12:16	13:16	14:16	15:16	16:16	17:20	18:47	20:50
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
宮方橋	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	20:56
庄田	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	17:34	↓	-
傍示	8:00	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	-	↓	-
生駒北スポーツセンター	-	8:52	9:49	10:49	11:49	12:49	13:49	14:49	15:49	16:49	-	19:20	-

出典：奈良交通 HP

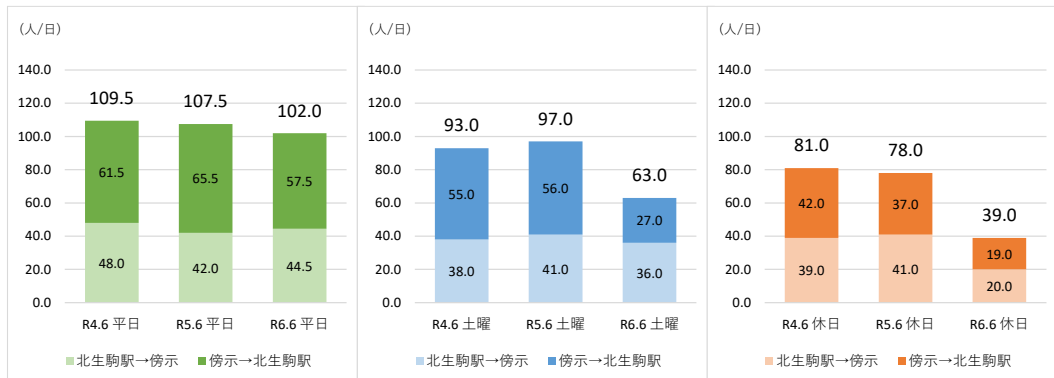
(2) 富雄庄田線の利用状況

- ・ 富雄庄田線の全体（傍示～富雄駅間）の1日あたりの平均利用者数は、令和6年6月時点で、平日は約463人、土曜は約288人、日祝は約157人です。令和4年からの推移は、平日は微増、土曜・日祝は減少しています。
- ・ 高山地区内（傍示～学研北生駒駅間）の利用者数は、令和6年6月時点で、平日は約102人、土曜は約63人、日祝は約39人です。令和4年からの推移は、平休ともに減少しています。
- ・ 学研北生駒駅を跨る場合（高山地区内の停留所～学研北生駒駅以南の停留所間）の利用者数は、令和6年6月時点で、平日は約41人、土曜は約15人、日祝は約8人です。令和4年からの推移は、平日・日祝は減少、土曜は増加しています。

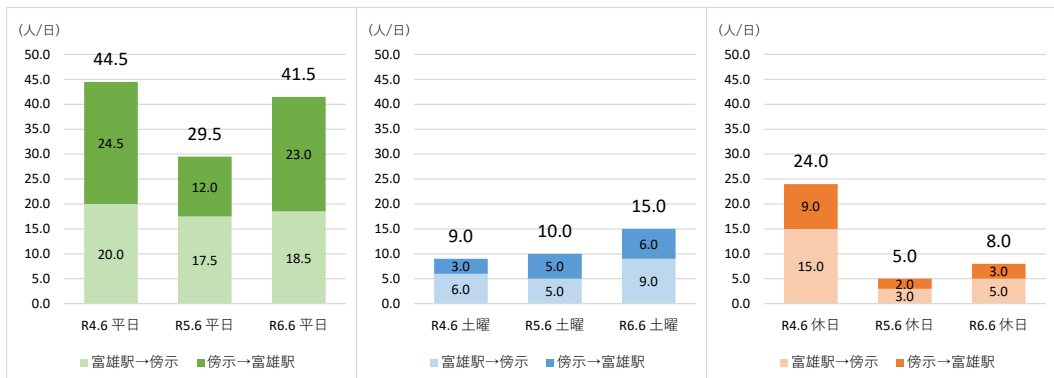
< 路線全体（傍示～富雄駅間） >



< 高山地区内（傍示～学研北生駒駅間） >



< 学研北生駒駅を跨る（高山地区内の停留所～学研北生駒駅以南の停留所間） >



出典：奈良交通 調査データ（R4～6）

図 1-2 富雄庄田線の1日あたりの利用者数

- ・ 停留所別の 1 日あたりの乗降人数は、生駒市内及び高山地区内では、平休ともに学研北生駒駅の乗降人数が最も多いです。
- ・ 学研北生駒駅の次に利用が多いのは、高山地区内では、平日は生駒北小中学校、土曜及び日祝は生駒北スポーツセンターです。平日は通学、土曜及び日祝はスポーツセンターの施設利用を目的とした利用者が多いと考えられます。

表 1-2 富雄庄田線の 1 日あたりの停留所別乗降人数（生駒市内の停留所のみ抜粋）

		平日		土曜		日祝	
		乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
生駒市内 ↑↑ 高山地区内 ↓	生駒北スポーツセンター	0.0	0.0	4.0	15.0	6.0	15.0
	傍示（南）	5.5	1.5	1.0	1.0	0.0	0.0
	傍示	1.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	高山狭戸	1.5	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	高船口	2.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	鐘付田	4.0	2.0	0.0	0.0	1.0	0.0
	東庄田	6.5	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	庄田	5.5	4.5	3.0	1.0	5.0	2.0
	西庄田	6.5	5.0	0.0	3.0	0.0	0.0
	上大北	6.0	3.5	4.0	4.0	2.0	1.0
	大北	4.5	5.5	0.0	1.0	0.0	1.0
	高山八幡宮前	7.5	5.0	4.0	4.0	2.0	2.0
	高山学校前	17.0	7.5	7.0	7.0	3.0	2.0
	生駒北小中学校	9.0	25.0	4.0	4.0	1.0	1.0
	宮方橋	4.0	2.0	3.0	4.0	2.0	0.0
	高山	1.5	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0
	高山芝	3.5	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	西向橋	5.0	3.0	0.0	1.0	0.0	0.0
	鷄山	0.0	0.5	0.0	1.0	0.0	0.0
	上大町	1.0	2.5	5.0	1.0	1.0	0.0
	学研北生駒駅	51.0	58.0	54.0	36.0	22.0	26.0
	掛橋	4.0	4.0	7.0	7.0	1.0	4.0
	蛇喰	10.0	4.5	7.0	2.0	1.0	2.0
	真弓橋	3.0	1.0	4.0	1.0	1.0	1.0
	生駒上町	2.5	10.5	2.0	2.0	2.0	2.0
	安養寺橋	8.5	5.0	3.0	0.0	0.0	1.0
	出垣内	10.0	7.5	1.0	7.0	5.0	4.0
	上町高樋	23.0	14.0	5.0	10.0	5.0	5.0

出典：奈良交通 調査データ（R6）

(3) 高山地区の地元意見

- ・ 富雄庄田線を利用している人は、日中・朝夕の運行本数の少なさや、乗りたい時間に運行していないことに困っている。獅子ヶ丘・宮方・久保では、自宅からバス停まで歩くのが大変なことに困っており、芝・大北・傍示・宮方では、バス停にベンチや屋根がないことに一定数の人が困っている。
- ・ 利用していない人の利用しない理由は、自家用車での移動や、乗りたい時間に運行していないことが多くを占める。獅子ヶ丘・久保では自宅からバス停まで歩くのが大変なことがネックとなっている。獅子ヶ丘では日中・朝夕の運行本数の少なさや、乗りたい時間に運行していないことを理由とする人が多く、平日に地域内まで運行していないことが原因と考えられる。

表 1-2 富雄庄田線利用で困っていること（自治会別）

		で歩くことが大変	自宅からバス停がない	目的地にバス停がない	時刻通りに運行していない	日中の運行本数が少ない	朝夕の運行本数が少ない	乗りたくない時間に行かない	バスから鉄道の乗り継ぎが悪い	鉄道からバスの乗り継ぎが悪い	バス停にベンチャ屋根がない	ルートや時刻表がよくわからない	その他	特に思っていることはない	不明・無回答
全体合計		429	15%	0%	2%	27%	26%	27%	5%	6%	6%	1%	7%	11%	9%
居住地	傍示	23	0%	0%	4%	9%	13%	35%	4%	0%	9%	0%	9%	26%	9%
	獅子ヶ丘	34	50%	0%	0%	21%	32%	18%	3%	6%	3%	0%	15%	9%	3%
	芝	31	13%	0%	0%	23%	10%	13%	0%	3%	10%	0%	6%	16%	16%
	久保	65	22%	0%	5%	40%	26%	23%	8%	9%	0%	0%	3%	9%	2%
	庄田	123	11%	0%	1%	22%	23%	29%	7%	6%	4%	2%	8%	12%	15%
	大北	125	8%	1%	2%	31%	34%	34%	4%	6%	9%	2%	5%	7%	8%
	宮方	28	25%	0%	4%	32%	32%	14%	7%	11%	7%	0%	11%	11%	4%

出典：令和５年度高山地区住民アンケート調査結果（生駒市）

※富雄庄田線利用で困っていることは複数回答可

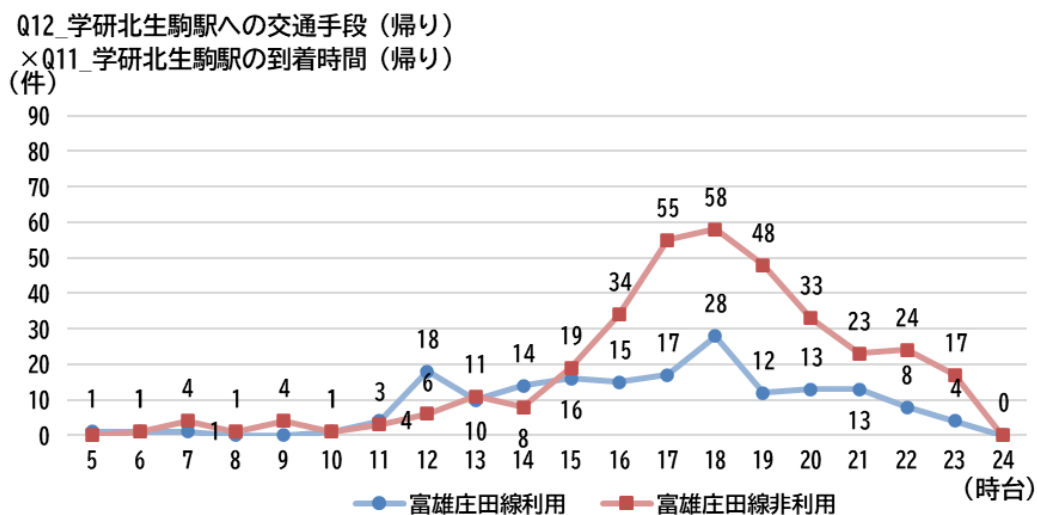
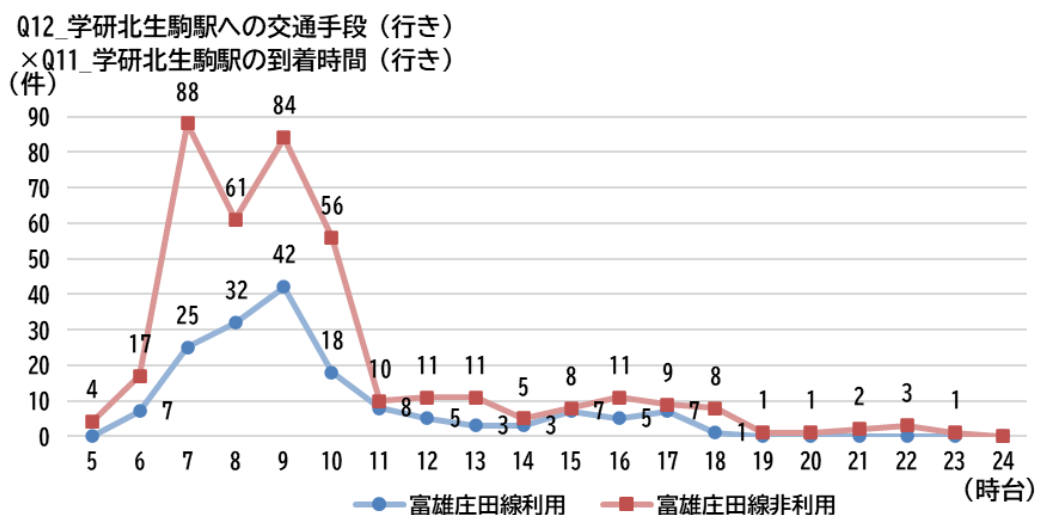
表 1-3 富雄庄田線を利用しない理由（自治会別）

		不明・無回答	その他	自家用車で送迎しても らっている	自家用車を運転している	バス沿線の目的地に行か なくなった	退職・卒業によりバスを 利用しなくなった	ルートや時刻表がよくわ からない	バス停にベンチや屋根が ない	鉄道からバスの乗継が悪 い	バスから鉄道の乗り継ぎ が悪い	乗りたい時間に運行して いない	朝夕の運行本数が少ない	日中の運行本数が少ない	時刻通りに運行していな い	目的地にバス停がない	自宅からバス停まで歩く ことが大変
全体合計	816	16%	3%	1%	16%	8%	17%	2%	2%	3%	2%	2%	16%	8%	1%	3%	16%
居住地	傍示	41	7%	5%	0%	10%	0%	12%	0%	0%	0%	0%	10%	0%	0%	10%	7%
	獅子ヶ丘	82	38%	1%	0%	28%	17%	28%	1%	4%	4%	1%	28%	17%	0%	38%	38%
	芝	126	11%	3%	3%	10%	8%	14%	1%	2%	8%	4%	10%	8%	3%	11%	11%
	久保	131	26%	4%	2%	17%	8%	15%	3%	2%	2%	3%	17%	8%	2%	26%	26%
	庄田	182	12%	3%	0%	16%	10%	17%	1%	1%	1%	1%	16%	10%	0%	12%	12%
	大北	160	8%	2%	1%	16%	8%	16%	2%	4%	2%	1%	16%	8%	2%	8%	8%
	宮方	94	19%	4%	0%	16%	4%	16%	2%	2%	2%	2%	16%	4%	0%	19%	19%

出典：令和５年度高山地区住民アンケート調査結果（生駒市）

※富雄庄田線を利用しない理由は複数回答可

- ・ 鉄道を利用するために学研北生駒駅へ移動する際の到着時間をみると、行きでは、富雄庄田線利用者・非利用者ともに、朝 7～9 時台がピークとなっている。
- ・ 帰りでは、富雄庄田線利用者は昼 12 時台と夕方 17・18 時台がピークだが、非利用者は 17～19 時台がピークとなっている。また、学研北生駒駅→傍示便の終発は 18 時台、学研北生駒駅→庄田便の終発は 21 時台だが、19 時以降あるいは 22 時以降においても学研北生駒駅から帰宅する方が一定いることがわかる。

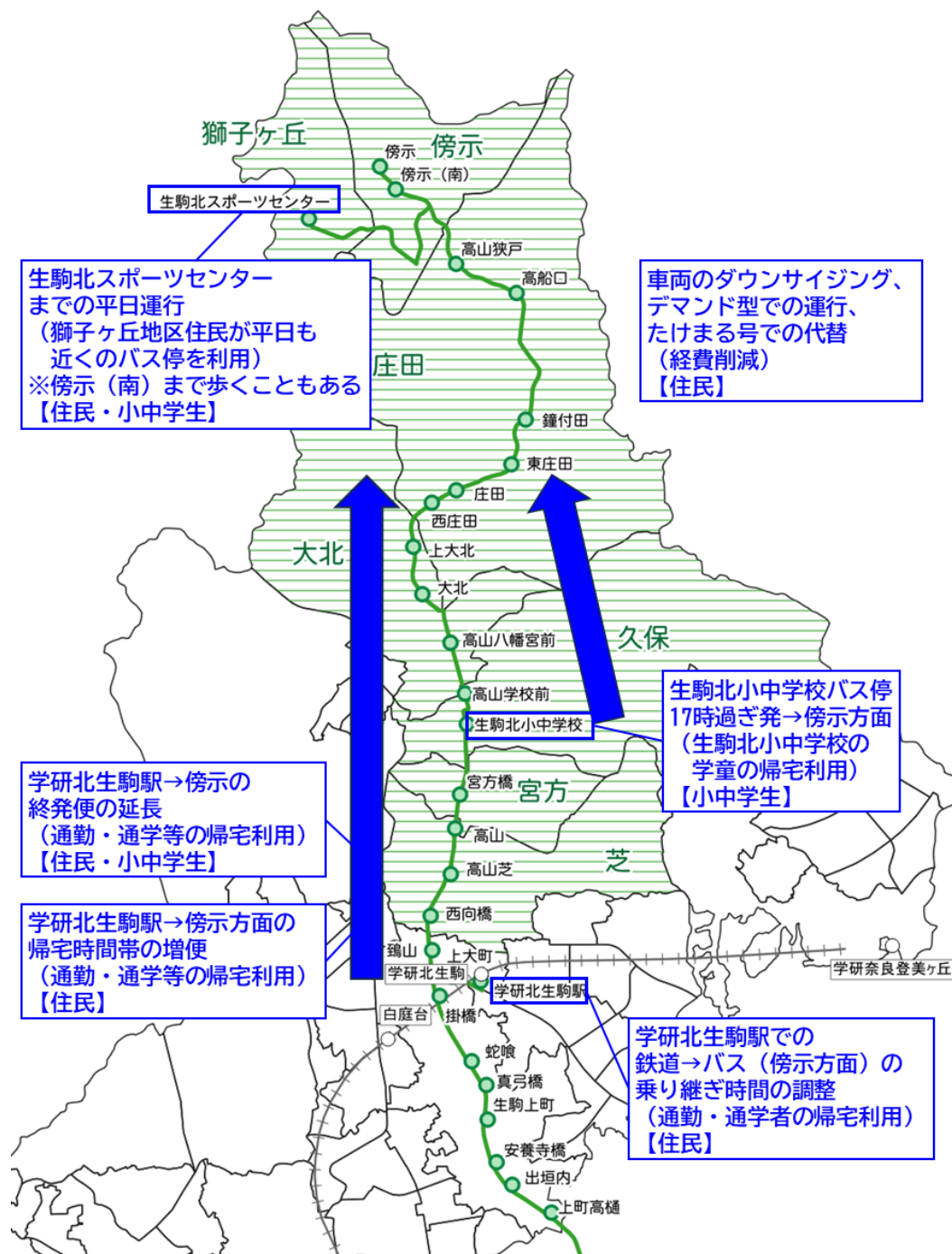


出典：令和 5 年度高山地区住民アンケート調査結果（生駒市）

図 1-2 学研北生駒駅の到着時間（学研北生駒駅への交通手段別）
（上：行き、下：帰り）

※学研北生駒駅の到着時間、学研北生駒駅への交通手段は複数回答可

- ・ 地元からの主な意見は、①最終便の延長、②帰宅時間帯の増便、③学研北生駒駅での鉄道→バスの乗り継ぎ、④獅子ヶ丘地区のバス停新設、⑤学童向けの運行、⑥ダウンサイジング・デマンド型の運行であった。



出典：令和 5 年度高山地区住民アンケート調査結果（生駒市）、令和 5 年度生駒北小中学校 小中学生アンケート調査結果（生駒市）

1.4.2. 課題

生駒市地域公共交通計画において、生駒市における地域公共交通として次の 8 項目の課題を整理しています。これらの課題をうけ、また、前述の高山地区の現状を受け、高山地区を運行するバス路線を見直し、持続可能で利便性の高い公共交通サービスの提供を図ります。

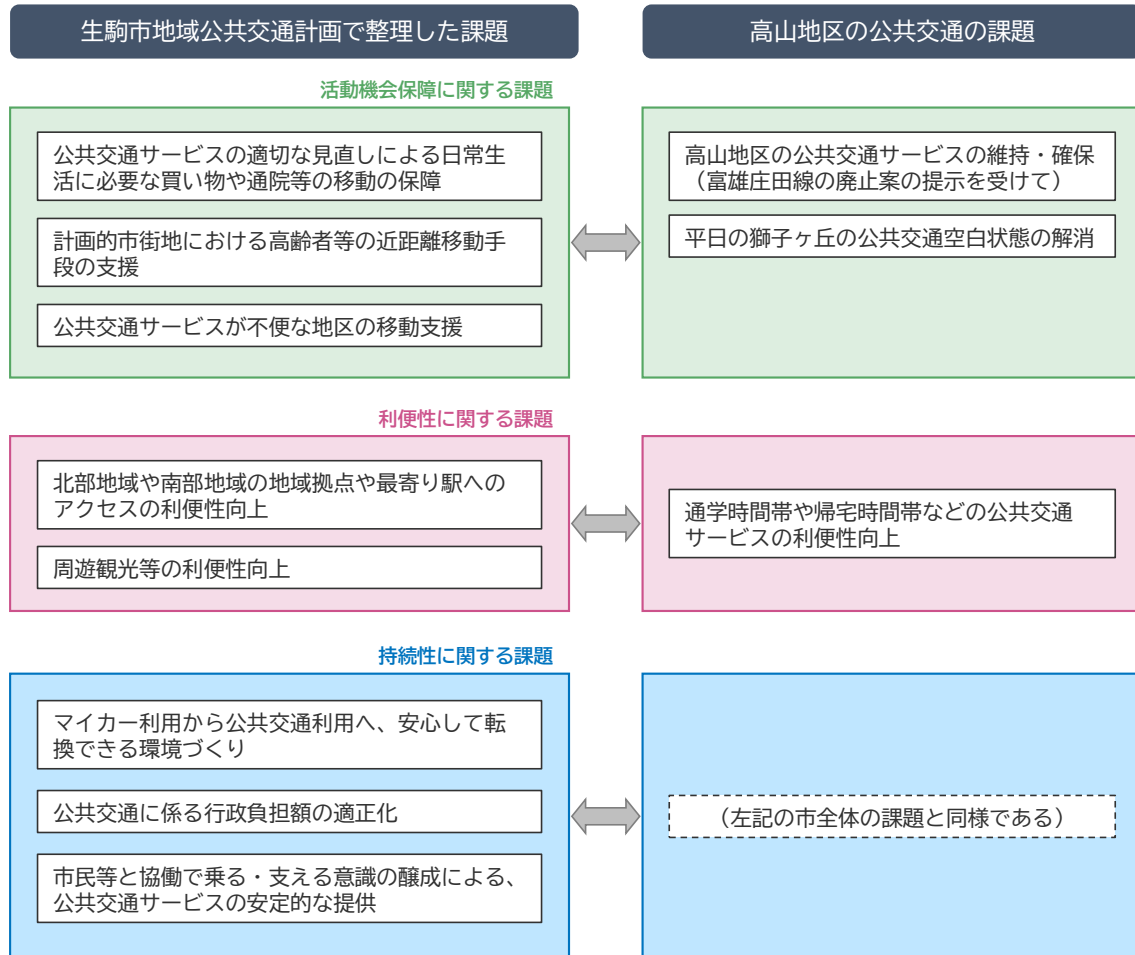


図 1-3 生駒市全体の公共交通の課題及び高山地区の公共交通の課題

出典：市全体の課題）生駒市地域公共交通計画より抜粋

2. 事業の内容・実施主体

2.1. 事業の全体像

生駒市地域公共交通計画で定めた事業項目のうち、以下（P13）に示す事業項目に関して実施します。具体的には、高山地区のバス路線の再編として、高山地区を運行する「富雄庄田線」の一部系統を廃止し、新たに学研北生駒駅～傍示間を運行する系統を新設します。

生駒市地域公共交通計画で示された事業項目		
基本方針／方向性／事業項目		事業内容
①公共交通サービスの提供による市民の活動機会の保障	①市民の日常生活における活動機会の保障	買い物や通院の時間帯に合わせた公共交通サービスの提供、既存公共交通サービスの強化等を検討する。
	②買い物や通院等の時間帯に合わせた公共交通サービスの提供	
②まちづくりと連携した公共交通サービスの提供	①まちづくりや観光分野と公共交通の連携	地域拠点や生活拠点まで公共交通サービスを利用して移動できない（時間がかかる）地区については、路線バスやたけまる号のサービス提供状況を検証し、必要に応じて改善等の検討を行う。
	⑥都市拠点等への公共交通サービスの見直し・改善	



生駒市地域公共交通利便増進実施計画【高山地区】での事業項目		
事業項目	事業内容	実施主体
高山地区におけるバス路線の再編		
富雄庄田線の一部系統の見直し	- 富雄庄田線の一部系統を廃止し、新たな系統を新設する。 - 新たな系統の運行区間は、学研北生駒駅～傍示方面に短縮し、定時性向上を図る。 - 生駒北スポーツセンターへの平日運行を行い、獅子ヶ丘地区の生活利便性向上と、くろんど池の観光利用促進を図る。 - 帰宅時間帯の学研北生駒駅から傍示方面のバスを増便することで、利用者利便性向上を図る。また、同方面への帰宅時間帯の終発時間を延長し（かつ、庄田終点を傍示終点に変更）、庄田以北の利用者利便性向上を図る。 - 学研北生駒駅での鉄道とバスの乗継を考慮した運行時刻に変更し、乗継利便性向上を図る。 - 生駒北小中学校の通学時間にあわせた運行時刻に変更し、通学利便性向上を図る。 - 通勤通学時間帯を除く 9 時以降のダイヤをパターンダイヤに変更し、利用者利便性向上を図る。	奈良交通
学研北生駒駅での乗継運賃の見直し	傍示方面～学研北生駒駅と、学研北生駒駅～富雄駅のバスにおいて、乗継割引を適用し、富雄方面への乗継利便向上を図る。	奈良交通

2.2. 個別事業の内容

2.2.1. 富雄庄田線の一部系統の見直し

富雄庄田線の一部系統を廃止するとともに、学研北生駒駅～傍示間を運行する新たな系統を新設します。新たな系統では、運行区間を学研北生駒駅～傍示方面に短縮し、定時性向上を図ります。また、生駒北スポーツセンターへの平日運行を行い、獅子ヶ丘地区の生活利便性向上と、くろんど池周辺に停留所を新設することで観光利用促進を図ります。

(1) 運行概要

1) 系統別の運行本数等

■富雄庄田線の再編対象系統

【再編前】

系統 番号	起点	経由地	終点	キロ程 [km]	運行回数[回] (片道1便の運行を0.5回で記載)					再編 対象
					平日 学開	平日 学休	土曜 学開	土曜 学休	休日	
151	富雄駅	学研北生駒駅	高山学校前	6.8	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	○
152	富雄駅	学研北生駒駅	庄田	8.4	1.5	1.5	1.0	1.0	1.0	○
153	富雄駅	学研北生駒駅	傍示	11.3	14.0	14.5	1.5	1.5	1.5	○
154	富雄駅	育英西校、学研北生駒駅	傍示	12.4	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	○
156	富雄駅	学研北生駒駅、傍示	生駒北 SC	13.0	0.0	0.0	9.5	10.0	10.0	○
155	富雄駅	二名	学研北生駒駅	4.4	11.0	11.0	7.5	7.5	5.0	—
157	富雄駅	育英西校、学研北生駒駅、傍示	生駒北 SC	14.1	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	○
文	富雄駅	二名	育英西校	2.2	10.5	0.0	9.0	0.0	0.0	—
合計				—	38.5	28.0	29.5	20.5	18.0	—
(学研北生駒駅以北のみ)				—	17.0	17.0	13.0	13.0	13.0	—

※黄色：幹線補助系統

【再編後】

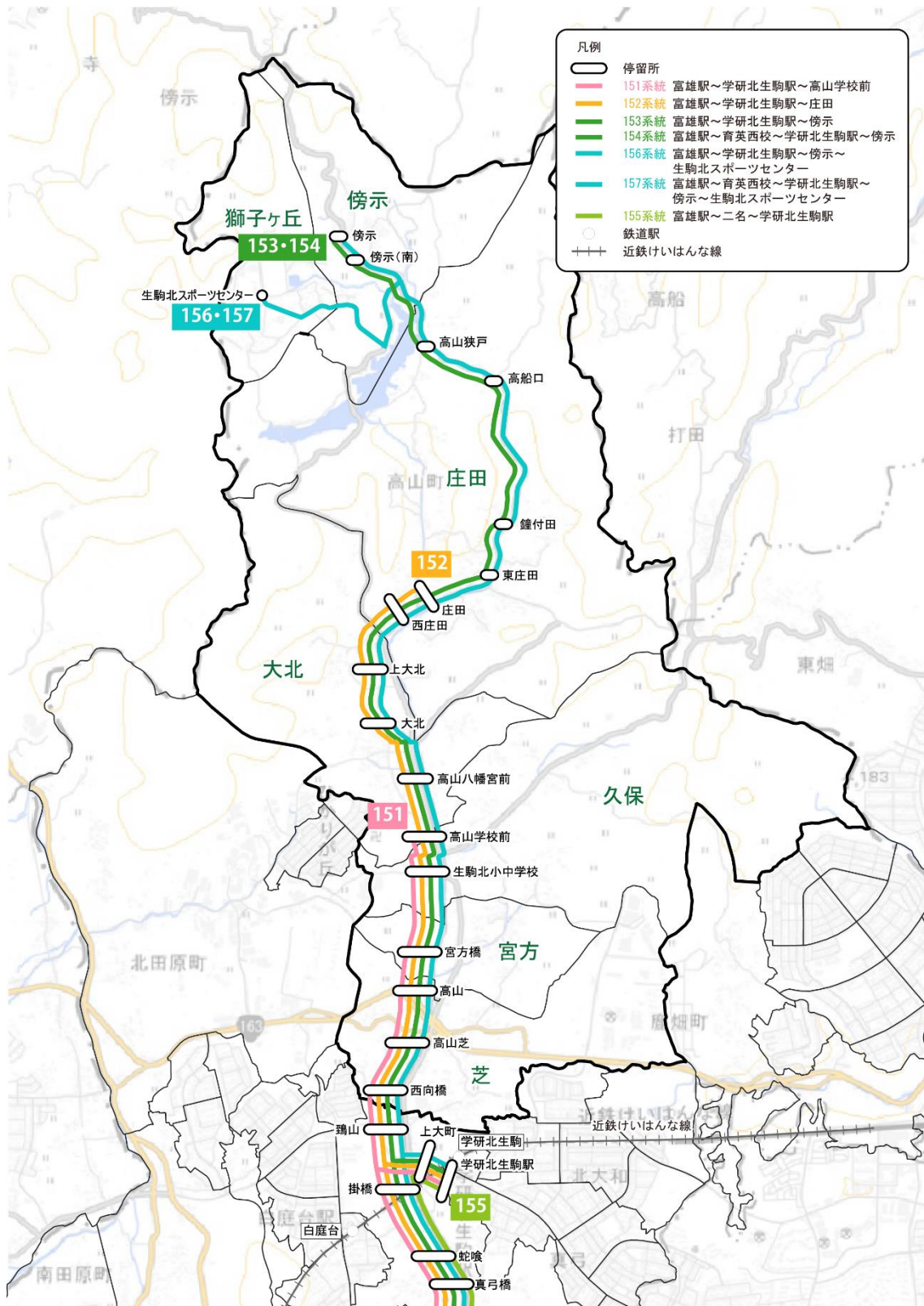
系統 番号	起点	経由地	終点	キロ程 [km]	運行回数[回] (片道1便の運行を0.5回で記載)					再編 対象
					平日 学開	平日 学休	土曜 学開	土曜 学休	休日	
①	北生駒	生駒北小中学校	高山学校前	2.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	○
②	北生駒	生駒北小中学校	庄田	4.0	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	○
③	北生駒	生駒北小中学校	傍示	6.9	14.5	14.5	1.5	1.5	1.5	○
④	北生駒	生駒北小中学校、傍示	生駒北 SC	8.6	2.0	2.0	10.0	10.0	10.0	○
155	富雄駅	二名	学研北生駒駅	4.4	28.0	28.0	20.5	20.5	18.0	—
文	富雄駅	二名	育英西校	2.2	10.5	0.0	9.0	0.0	0.0	—
合計				—	38.5	28.0	29.5	20.5	18.0	—
(学研北生駒駅以北のみ)				—	17.5	17.5	13.0	13.0	13.0	—

※黄色：幹線補助系統 水色：フィーダー補助系統（予定）

北生駒：学研北生駒駅

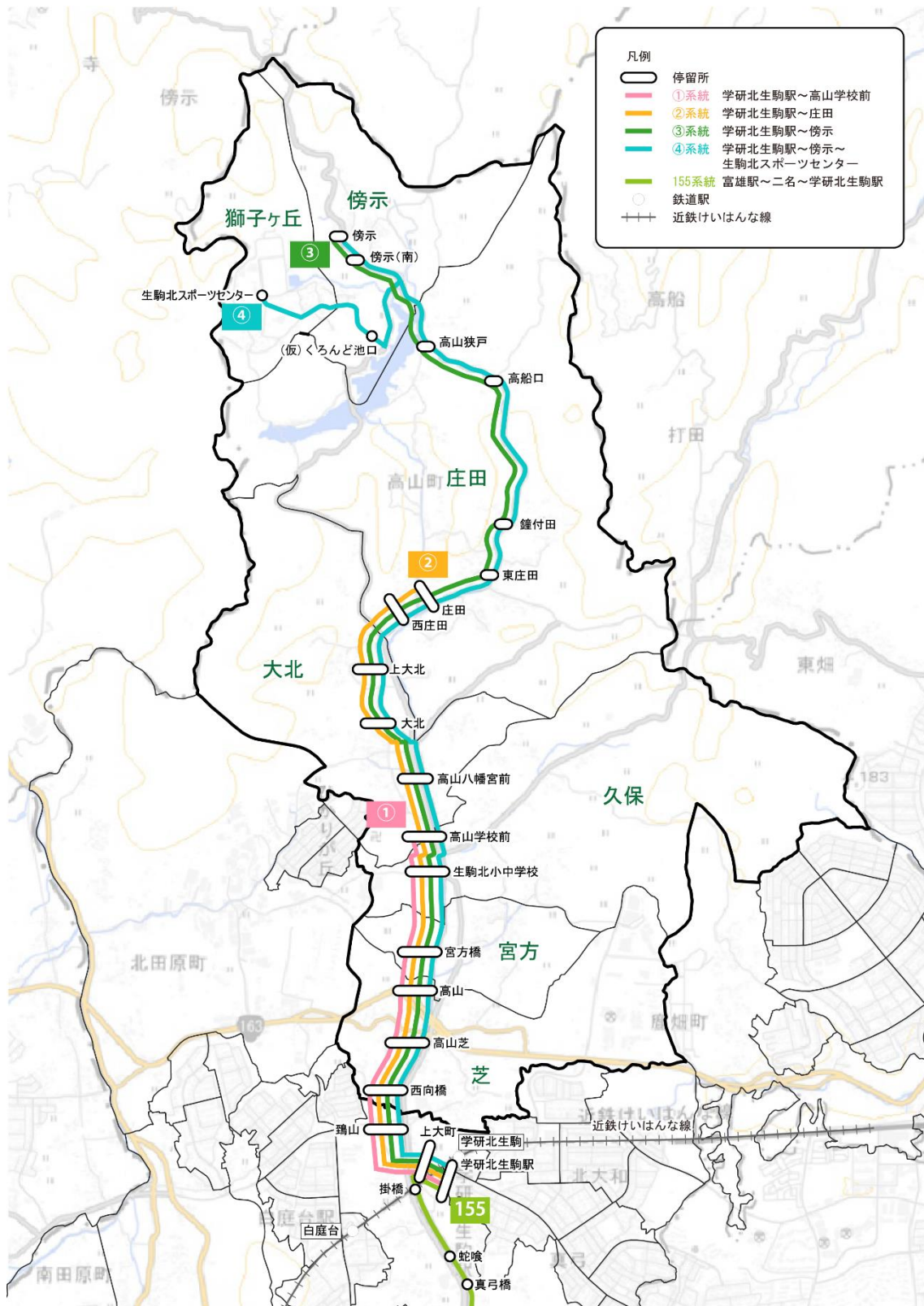
2) 路線図

【再編前】



(地図：地理院タイルを使用)

【再編後】



(地図：地理院タイルを使用)

3) 個別系統の状況

■151 系統 富雄駅～学研北生駒駅～高山学校前

項目	再編前			再編後
事業の種類	一般乗合旅客自動車運送事業			廃止
運行形態	定時定路線（路線定期運行）			
路線	富雄庄田線（151 系統）			
運行主体	奈良交通株式会社			
運行車両	●人乗り車両（大型）			
運行区間	起点）富雄駅 終点）高山学校前 主な経由地）学研北生駒駅			
キロ程	6.8km			
運行本数		富→傍	傍→富	
※富：富雄駅、 傍：傍示方面	平日	1 便	1 便	
	休日	1 便	0 便	
停留所数	25 箇所			
運行日	毎日			
運行時間帯 (発時刻)	平日）6:22、7:02 休日）20:33			
ダイヤ設定	－			
運賃	距離制運賃			

■①系統 学研北生駒駅～高山学校前

項目	再編前	再編後		
事業の種類	路線新設 のため 該当なし	一般乗合旅客自動車運送事業		
運行形態		定時定路線（路線定期運行）		
路線		富雄庄田線（①）		
運行主体		奈良交通株式会社		
運行車両		●人乗り車両（●●）		
運行区間		起点）学研北生駒駅 終点）高山学校前 主な経由地）生駒北小中学校		
キロ程		2.4km		
運行本数			北→傍	傍→北
※北：学研北生駒駅、傍：傍示		平日	0～1 便	1 便
		休日	1 便	0 便
停留所数		9 箇所		
運行日		毎日		
運行時間帯 (発時刻)		平日）6:42 休日）20:33		
ダイヤ設定		－		
運賃		距離制運賃		

■152 系統 富雄駅～学研北生駒駅～庄田

項目	再編前			再編後
事業の種類	一般乗合旅客自動車運送事業			廃止
運行形態	定時定路線（路線定期運行）			
路線	富雄庄田線（152 系統）			
運行主体	奈良交通株式会社			
運行車両	●人乗り車両（大型）			
運行区間	起点）富雄駅 終点）庄田 主な経由地）学研北生駒駅			
キロ程	8.4km			
運行本数		富→傍	傍→富	
※富：富雄駅、 傍：傍示方面	平日	2 便	1 便	
	休日	1 便	1 便	
停留所数	29 箇所			
運行日	毎日			
運行時間帯 （発時刻）	平日）6:03、20:09、21:27 休日）6:31、17:01			
ダイヤ設定	－			
運賃	距離制運賃			

■②系統 学研北生駒駅～庄田

項目	再編前	再編後		
事業の種類	路線新設 のため 該当なし	一般乗合旅客自動車運送事業		
運行形態		定時定路線（路線定期運行）		
路線		富雄庄田線（②）		
運行主体		奈良交通株式会社		
運行車両		●人乗り車両（●●）		
運行区間		起点）学研北生駒駅 終点）庄田 主な経由地）生駒北小中学校		
キロ程		4.0km		
運行本数			北→傍	傍→北
※北：学研北生駒駅、傍：傍示		平日	0～2 便	1 便
		休日	1 便	1 便
停留所数		14 箇所		
運行日		毎日		
運行時間帯 (発時刻)		平日）6:42 休日）6:31、17:01		
ダイヤ設定		－		
運賃		距離制運賃		

■153 系統 富雄駅～学研北生駒駅～傍示

項目	再編前			再編後
事業の種類	一般乗合旅客自動車運送事業			廃止
運行形態	定時定路線（路線定期運行）			
路線	富雄庄田線（153 系統）			
運行主体	奈良交通株式会社			
運行車両	●人乗り車両（大型）			
運行区間	起点）富雄駅 終点）傍示 主な経由地）学研北生駒駅			
キロ程	11.3km			
運行本数		富→傍	傍→富	
※富：富雄駅、	平日	14 便	15 便	
傍：傍示方面	休日	1 便	2 便	
停留所数	35 箇所			
運行日	毎日			
運行時間帯 （発時刻）	平日）6:37～18:28 休日）7:05～8:13			
ダイヤ設定	主に昼間時間帯のパターンダイヤ化（平日傍示発：11～13 時台は 04 分発、平日富雄駅発：9～14 時台は 00 分発）			
運賃	距離制運賃			
備考	幹線補助系統			

■③系統 学研北生駒駅～傍示

項目	再編前	再編後		
事業の種類	路線新設 のため 該当なし	一般乗合旅客自動車運送事業		
運行形態		定時定路線（路線定期運行）		
路線		富雄庄田線（③）		
運行主体		奈良交通株式会社		
運行車両		●人乗り車両（●●）		
運行区間		起点）学研北生駒駅 終点）傍示 主な経由地）生駒北小中学校		
キロ程		6.9km		
運行本数			北→傍	傍→北
※北：学研北生駒駅、傍：傍示		平日	14～16 便	13～15 便
		休日	1 便	2 便
停留所数		20 箇所		
運行日		毎日		
運行時間帯 （発時刻）		平日）6:20～21:00 休日）6:31、17:01		
ダイヤ設定		主に昼間時間帯のパターンダイヤ化（平日傍示発：9～18 時台は 27 分発、平日学研北生駒駅発：9～21 時台は 00 分発）		
運賃		距離制運賃		
備考		フィーダー補助系統		

■154 系統 富雄駅～育英西校・学研北生駒駅～傍示

項目	再編前			再編後
事業の種類	一般乗合旅客自動車運送事業			廃止
運行形態	定時定路線（路線定期運行）			
路線	富雄庄田線（154 系統）			
運行主体	奈良交通株式会社			
運行車両	●人乗り車両（大型）			
運行区間	起点）富雄駅 終点）傍示 主な経由地）育英西校、学研北生駒駅			
キロ程	12.4km			
運行本数		富→傍	傍→富	
※富：富雄駅、	平日	1 便	0 便	
傍：傍示方面	休日	0 便	0 便	
停留所数	36 箇所			
運行日	毎日			
運行時間帯 （発時刻）	平日）7:57 休日）－			
ダイヤ設定	－			
運賃	距離制運賃			
備考	幹線補助系統（みなし系統）			

■156 系統 富雄駅～学研北生駒駅・傍示～生駒北スポーツセンター

項目	再編前			再編後
事業の種類	一般乗合旅客自動車運送事業			廃止
運行形態	定時定路線（路線定期運行）			
路線	富雄庄田線（156 系統）			
運行主体	奈良交通株式会社			
運行車両	●人乗り車両（大型）			
運行区間	起点）富雄駅 終点）生駒北スポーツセンター 主な経由地）学研北生駒駅、傍示			
キロ程	13.0km			
運行本数		富→傍	傍→富	
※富：富雄駅、 傍：傍示方面	平日	0 便	0 便	
	休日	10 便	10 便	
停留所数	37 箇所			
運行日	毎日			
運行時間帯 (発時刻)	平日）－ 休日）8:03～18:31			
ダイヤ設定	主に昼間時間帯のパターンダイヤ化（休日生駒北スポーツセンター発：9～16 時台は 58 分発、休日富雄駅発：9～16 時台は 00 分発）			
運賃	距離制運賃			
備考	幹線補助系統（協議会承認のみなし系統）			

■④系統 学研北生駒駅～傍示～生駒北スポーツセンター

項目	再編前	再編後		
事業の種類	路線新設 のため 該当なし	一般乗合旅客自動車運送事業		
運行形態		定時定路線（路線定期運行）		
路線		富雄庄田線（④）		
運行主体		奈良交通株式会社		
運行車両		●人乗り車両（●●）		
運行区間		起点）学研北生駒駅 終点）生駒北スポーツセンター 主な経由地）生駒北小中学校、傍示		
キロ程		8.6km		
運行本数 ※北：学研北生駒駅、傍：傍示			北→傍	傍→北
		平日	0～2 便	0～2 便
		休日	10 便	10 便
停留所数		22 箇所		
運行日		毎日		
運行時間帯 （発時刻）		平日）7:29～17:00 休日）6:31、17:01		
ダイヤ設定		－		
運賃	距離制運賃			
備考	フィーダー補助系統			

■157 系統 富雄駅～育英西校・学研北生駒駅・傍示～生駒北スポーツセンター

項目	再編前			再編後
事業の種類	一般乗合旅客自動車運送事業			廃止
運行形態	定時定路線（路線定期運行）			
路線	富雄庄田線（157 系統）			
運行主体	奈良交通株式会社			
運行車両	●人乗り車両（大型）			
運行区間	起点）富雄駅 終点）生駒北スポーツセンター 主な経由地）育英西校、学研北生駒駅、傍示			
キロ程	14.1km			
運行本数		富→傍	傍→富	
※富：富雄駅、 傍：傍示方面	平日	0 便	0 便	
	休日	1 便	0 便	
停留所数	39 箇所			
運行日	毎日			
運行時間帯 （発時刻）	平日）－ 休日）7:57			
ダイヤ設定	－			
運賃	距離制運賃			

(2) 運行本数の概要

新たな系統の学研北生駒駅～傍示方面については、帰宅時間帯（18 時以降）の増便や終発時間延長、通勤通学時間帯を除く 9 時以降のパターンダイヤ化等を図ることで、利用者利便性向上を図ります。

■運行本数

全体 (合計)	運行区間	運行回数				
		時間区分	平日		休日	
			北→傍	傍→北	北→傍	傍→北
再編前	学研北生駒駅～傍示間	帰宅時間帯	3 便	1 便	2 便	0 便
		終日	17 便	17 便	13 便	13 便
再編後	学研北生駒駅～傍示間	帰宅時間帯	4 便	1 便	2 便	0 便
		終日	18 便	17 便	13 便	13 便

※北：学研北生駒駅、傍：傍示方面

帰宅時間帯：18 時以降

■パターンダイヤの設定イメージ

全体 (合計)	対象となる 運行区間	運行パターン		
		時間区分	平日	休日
再編前	学研北生駒駅～傍示間	9 時～22 時	学研北生駒駅発：最大待ち時間 100 分(計 13 本) 傍示発：最大待ち時間 65 分 (計 10 本)	学研北生駒駅発：最大待ち時間 123 分 (計 11 本) 生駒北 SC 発：最大待ち時間 60 分 (計 9 本)
再編後	学研北生駒駅～傍示間	9 時～22 時	学研北生駒駅発：最大待ち時間 60 分 (計 13 本) 傍示発：最大待ち時間 60 分 (計 10 本)	学研北生駒駅発：最大待ち時間 123 分 (計 11 本) 生駒北 SC 発：最大待ち時間 60 分 (計 9 本)

2.2.2. 学研北生駒駅での乗継運賃の見直し

富雄庄田線の一部系統の廃止及び新たな系統の新設により、高山地区と富雄方面との移動は学研北生駒駅で乗継が必要になることから、学研北生駒駅を発着するバスにおいて、乗継割引を適用し、富雄方面への乗継利便向上を図ります。

【実施概要】

- ・ 交通系 IC カードを使って、傍示方面～学研北生駒駅（①～④系統）と、学研北生駒駅～富雄駅（155 系統）の路線バスを乗り継ぐ利用者を対象とします。
- ・ 乗継割引金額は●円とします（小人料金・障がい者料金は●円とします）。
- ・ 乗継時間は●時間以内とし、●時間を超過した場合は通常の乗車と同様に初乗り運賃が発生します。

2.2.3. その他の事業

（1） モビリティ・マネジメントの実施

公共交通マップや時刻表の配布等のモビリティ・マネジメントを実施し、路線の認知度向上や利用促進を図ります。

3. 地方公共団体による支援の内容（地方公共団体の負担額）

3.1. 運行費の補助

高山地区の公共交通サービスを確保、維持していくために、交通事業者に対して運行経費の支援を行います。

3.2. モビリティ・マネジメントにかかる事業の実施

（1） 公共交通・おでかけ情報等の広報媒体の作成

路線バスのダイヤ改正や路線バスの再編等にあわせて、公共交通の路線や時刻表が掲載された公共交通マップを作成・配布等を実施し、路線の認知度向上や利用促進を図ります。

（2） 市広報誌やホームページ、SNS 等での情報発信

路線バスのダイヤ改正や路線バスの再編等にあわせて、市広報誌（広報いこま「いこまち」）や生駒市ホームページ、生駒市公式 SNS 等を活用して、広く市民に周知を図ります。

4. 予定実施期間

令和 7 年度から令和 13 年度までとします。

5. 事業実施に必要な資金の額（地方公共団体の負担額を除く）・調達方法

5.1. 路線の再編、運行回数、運行時刻の変更

奈良交通株式会社による富雄庄田線の学研北生駒駅～傍示間の運行に関する事業の資金調達は、基本的に民間事業者の経営収益の一部を活用して実施します。

■令和 7 年度～令和 13 年度（各年度）の資金（単年度） ※R5 年度実績に基づいた試算

項目	事業費（千円/年）		調達方法		実施年度
	総事業費	内訳	調達主体	補助金等	
高山地区におけるバス路線の再編	50,000	10,000	奈良交通株式会社	— (運輸収入)	令和 7 年度～ 令和 13 年度
		20,000	生駒市地域公共交通活性化協議会	国補助	令和 7 年度～ 令和 13 年度
		20,000	奈良交通株式会社	市補助	令和 7 年度～ 令和 13 年度

※富雄庄田線の学研北生駒駅～傍示間は、フィーダー補助を申請予定。

※上表記載の補助金額等は現時点の見込額であり、記載の通り調達がされない場合があり得る。

5.2. その他の事業

■令和 7 年度～令和 13 年度（各年度）の資金（単年度）

項目	事業費（千円/年）		調達方法		実施年度
	総事業費	内訳	調達主体	補助金等	
モビリティ・マネジメント	1,000	500	生駒市	—	令和 7 年度～ 令和 13 年度
		500	生駒市地域公共交通活性化協議会	国補助	令和 7 年度～ 令和 13 年度

※上表記載の補助金額等は現時点の見込額であり、記載の通り調達がされない場合があり得る。

6. 事業の効果

項目	事業の効果	現況値	目標値
高山地区におけるバス路線の再編			
富雄庄田線の一部系統の見直し			
	・ 帰宅時間帯の学研北生駒駅から傍示方面へ運行本数	平日：3 便 休日：2 便	平日：4 便 休日：2 便
	・ 生駒北スポーツセンターへの運行本数	平日：0 便	平日：4 便
	・ 学研北生駒駅～傍示間の停留所数	21 箇所	22 箇所

7. 地域公共交通計画に利便増進事業に関連して実施される事業が定められている場合には、当該事業に関する事項

生駒市地域公共交通計画では、次ページの表の通り、基本方針「公共交通サービスの提供による市民の活動機会の保障」の「②買い物や通院等の時間帯に合わせた公共交通サービスの提供」と基本方針「まちづくりと連携した公共交通サービスの提供」の「⑥都市拠点等への公共交通サービスの見直し・改善」の事業を、本利便増進実施計画に関連する事業として位置づけている。

また、前述の「2.2.3.その他の事業」に掲載した「モビリティ・マネジメントの実施」は、基本方針「市民・地元企業・行政等の協働による公共交通サービスの充実」の「⑫公共交通・おでかけ情報等の広報媒体の作成」や「⑬市広報誌やホームページ、SNS 等での情報発信」と連携して実施する。

基本方針	事業の方向性	具体的な事業 注1) ★は重点的に検討・実施する事業を示す 注2) 連携計画からの引継ぎ事業を【継続・拡充】 新たな事業を【新規】で示す	細目	実施予定時期						利便増進実施計画やネットワーク再編を検討する事業
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降	
公共交通サービスの提供による 市民の活動機会の保障	市民の日常生活における活動機会の保障	★①整備優先順位の高い地区への公共交通サービスの提供	鹿ノ台地区における公共交通サービスの提供の検討	運行計画検討	実行運行開始	→	→	→	→	
			高山地区における公共交通サービスの提供の検討	運行計画検討	→	→	随時実施	→	→	
			北田原地区における公共交通サービスの提供の検討	運行計画検討	→	→	随時実施	→	→	
			菜畑地区における公共交通サービスの提供の検討	運行計画検討	→	→	随時実施	→	→	
			真弓地区における公共交通サービスの提供の検討				運行計画検討	→	→	
			桜ヶ丘地区における公共交通サービスの提供の検討				運行計画検討	→	→	
	地域主体の公共交通サービスの検討	②買い物や通院等の時間帯に合わせた公共交通サービスの提供	買い物や通院等の時間帯に合わせた公共交通サービスの提供の検討				ネットワーク再編の検討	→	地区の検証・ニーズの検証	○
		③公共施設等での多様なニーズに対応した公共交通サービスの提供	コミュニティセンターを起終点とした公共交通サービスの提供の検討	情報収集実現可能性検討	→	→	→	→	→	
	高齢者が安心して利用できる移動手段の確保	★④近隣の助け合い輸送等の導入に向けた検討	助け合い輸送の検討	情報収集実現可能性検討	実施準備	→	随時実施	→	→	
		⑤高齢者運転免許自主返納制度等との連携	高齢者運転免許自主返納支援制度との連携 生駒市高齢者交通費等助成事業との連携	随時実施	→	→	→	→	→	
まちづくりと連携した公共交通サービスの提供	まちづくりや観光分野と公共交通の連携	⑥都市拠点等への公共交通サービスの見直し・改善	将来の生活交通圏域に準じた公共交通サービスの確保				ネットワーク再編の検討	→	運行計画検討	○
		⑦公共交通を利用して観光できる環境づくり	道路整備事業と連携した公共交通サービスの検討							
			公共交通を活用した観光ルート整備の検討	実施準備	→	随時実施	→	→	→	
	新しい技術の活用	⑧学研高山地区等でのICTを活用した交通システム等の検討	ICTを活用した交通システム等の検討	情報収集実現可能性検討	→	→	→	→	→	
		⑨MaaS等の技術を活用した乗継利便性向上の検討	MaaS等による公共交通乗継利便性向上の検討	情報収集実現可能性検討	→	→	→	→	→	
市民・地元企業・行政等の協働による公共交通サービスの充実	公共交通サービスの運行形態や評価基準の改善・検討	★⑩たけまる号の運行形態の見直し・改善	たけまる号西畑線の維持・確保（地域内フイダー系統） 地区特性に応じたたけまる号の運行改善	随時実施	→	→	→	→	→	
		★⑪公共交通サービスの新規運行や運行継続の水準の検討	本市が提供する公共交通サービスの評価指標の検討 地域主体の公共交通サービス導入ガイドブックの作成	指標検討	運用開始	→	→	→	→	
		★⑫公共交通・おでかけ情報等の広報媒体の作成	市の総合時刻表、おでかけ情報等を掲載した広報媒体の作成	随時実施	→	→	→	→	→	
		★⑬市広報誌やホームページ、SNS等での情報発信	市広報誌やホームページ、SNS等での情報発信	HP検討	運用開始	→	→	→	→	
	公共交通の情報提供	⑭イベントを通じた公共交通の利用啓発	継続性のあるイベントとの連携 新たなイベントの実施	随時実施	→	→	→	→	→	
		⑮モビリティ・マネジメントの実施	子どもの送迎に対するモビリティ・マネジメントの実施 転入者に対するモビリティ・マネジメントの実施	随時実施	→	→	→	→	→	
		⑯企業や病院等の送迎バスとの連携	地元企業の送迎バス等への一般市民の混乗化の検討 病院などの市内施設が運行している送迎バスの混乗化の検討	パートナーの検討	→	→	運行計画検討	→	→	
	地元企業等との協働や連携の推進	⑰地元企業等との連携の推進（協賛金・企業広告等）	商業施設と連携した料金施策 たけまる号への協賛金、企業広告の掲載	随時実施	→	→	→	→	→	

8. 地域公共交通計画に都市機能の増進に必要な立地の適正化に関する施策、観光の振興に関する施策その他の関係する施策との連携に関する事項が定められている場合には、当該連携に関する事項

該当なし

（現在検討中の生駒市立地適正化計画などで、高山地区の記載があれば追加する）

9. その他利便増進事業の運営に重大な関係を有する事項がある場合には、その事項

該当なし